

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：22021

学校名：屯田南学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	<p>○全国平均より上回った種目 長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げ</p> <p>○全国平均より下回った種目 反復横跳び</p>	<p>・「体育の授業が好き」と答えた子は、ほぼ「運動が好き」と答えている。また、「運動が好き」と答える子の多くが、「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」と答えている。このことから、体育の授業に楽しんで取り組める子を育てることが、将来にわたり、運動に親しむ子を育てることにつながると思われる。</p> <p>・運動をすることが好きという子では、男女の差が大きく表れている。また、「どのようなことがあれば体育の授業が楽しくなるか」という問いには、「できなかったことができるようになる」「自分に合ったペースで行うことができる」という子が多く、一人一人が目標をもち、どの子も楽しめる学習を構築していくことが大切であるとする。</p>
体力・運動能力 <女子>	<p>○全国平均より上回った種目 長座体前屈</p> <p>○全国平均より下回った種目 上体起こし・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走</p>	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<p>・「運動やスポーツをすることが好き、やや好き」と回答する子どもの割合 男子：93.3%（好き 83.3% やや好き 10.0%） 女子：79.5%（好き 48.7% やや好き 30.8%）</p> <p>・体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 男子：7.1%（R4:3.7% R5:6.2% R6:0%） 女子：30.8%（R4:6.7% R5:7.5% R6:8.0%）</p>	

三つの取組	① 体育・保健体育等の授業の充実	② 授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③ 子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	------------------	------------------------	----------------------

具体的な取組	<p>○一人一人が目標をもち、課題を解決するためにICT（1人1 台端末）を活用したり、他の子とアドバイスをしあうなど協働的な活動をしたりする学習を取り入れていく。また、課題に対しどのように取り組み、どのような力が付いたのかを振り返る場をつくり、自分の成長を実感できるようにしていく。</p> <p>○体育の授業の中での「なわとび運動」の継続的な取組を行うなど、児童の運動量を確保する。</p> <p>○「跳び箱やマット運動」の実施時期を揃える等、体育の授業内容を工夫・改善し、運動量を確保する。</p> <p>○外部の人材活用による専門的な立場からの指導や啓発を行う。（「走り方／かけっこ教室」「オリパラ教育」の継続）</p> <p>○3年生以上の保健の学習を養護教諭による保健指導と運動して行い、より系統性のある指導を行う。</p>	<p>○休み時間における運動環境（仲間・空間・時間）を整えるために、グラウンドでの遊びを奨励する。</p> <p>○みんなで楽しく体を動かしながら遊ぶことで、体力の増強を図る。</p> <p>○休み時間のなわとび運動を専用で行う「ふれあい広場」などを活用し、児童自らが体を動かしたくなる環境作りを努める。</p> <p>○年間を通した「なわとび運動」の取組カードを活用し、自分の身に付けた技術の見える化を図り、意欲に繋げる。なわとびの技能向上を目指した「ひまわりカップ」を年3回企画・運営する。</p> <p>○体力向上（運動）に関わる校内掲示板を充実させ、運動に対する意欲化を図る</p>	<p>○保健指導「いのちの学習」を計画的に実施し、児童の発達段階に応じた性に関する指導の充実を図る。</p> <p>○栄養教諭による食指導等を工夫して行う。</p> <p>○保健指導「いのちの学習」の取組を HP 等を含め保護者や地域に公開することで、家庭と学校が共通理解のもと連携し、学習の深まり、定着化を図る。</p> <p>○健康で規則正しい生活の仕方や家庭でのスマホ・パソコン等の適切な使用について、繰り返し指導することで、よりよい生活習慣を身に付けさせる。～健康三原則（運動・食事・睡眠）～</p>
--------	--	---	--

家庭・地域との連携・協働	<p>○外部の人材活用による専門的な立場からの指導や啓発を行う。「走り方／かけっこ教室」、「アスリート先生」など。</p> <p>○地域学校協働活動推進事業（旧サタデースクールの平日版）による放課後レクリエーション活動</p>
--------------	---